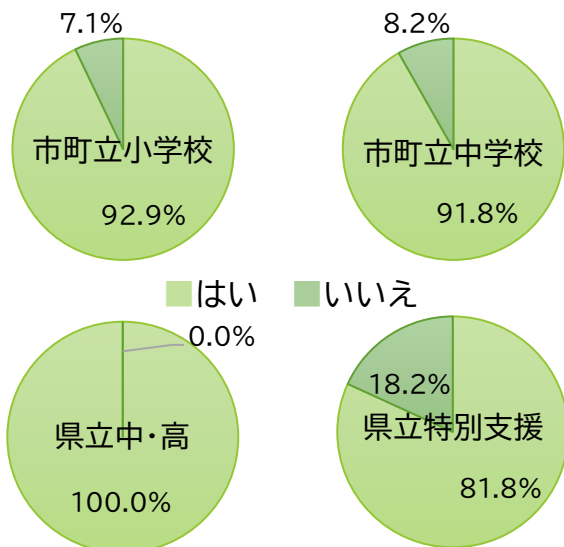


「令和5年度 学校の業務改善」の”今”

令和5年12月26日～令和6年1月31日の期間にて、「令和5年度 学校の業務改善」に対する取組状況の調査(各校の管理職による回答)を実施いたしましたので、概要をお伝えします。

Q1.「子どもの自主性を育む 手をかけすぎない指導」について、具体的に取り組むことができましたか？

はい
93.0%

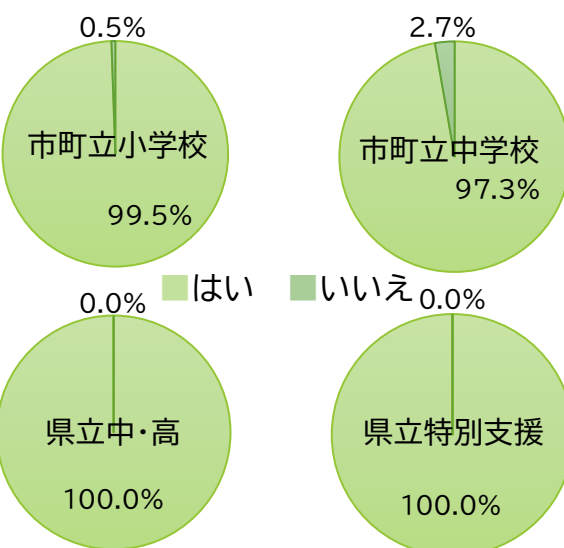


<主な取組>

- ・長期休暇の課題の選択制(小)
- ・児童会や6年生を中心とした行事等の運営。(あいさつ運動・縦割り活動)(小)
- ・外部指導者と児童の協働によるクラブ活動(教員は、サポートのみ)(小)
- ・一律の家庭学習を廃止し、アダプティブ・ラーニング教材を活用(中)
- ・生徒会活動は執行部が中心となって発案から運営まで行っている。(高)
- ・生徒の興味関心に基づいた探究活動、生徒自主活動時間の実施(高)
- ・休み時間で子ども同士での交流に安全面に配慮しつつ、直接的な交流ができるよう支援(特)
- ・生徒が立案・計画を行う校外学習の設定(特)
- ・子どもが選ぶ題材での活動(特別活動・作業・自立活動)(特)

Q2.「校務全般におけるDXの推進」について、具体的に取り組むことができましたか？

はい
99.0%

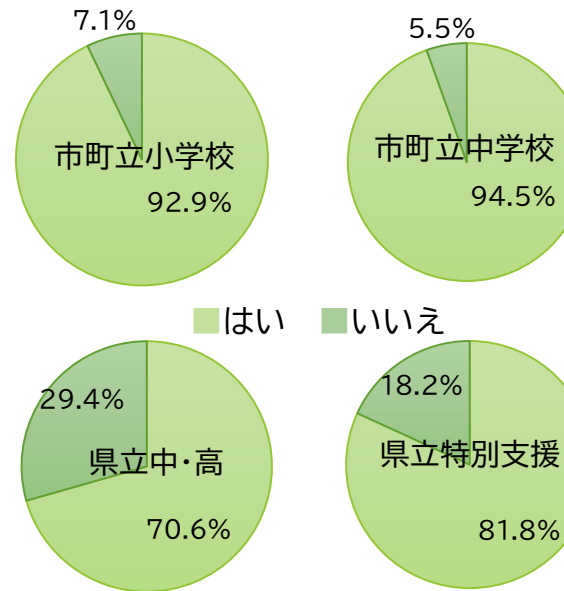


<主な取組>

- ・職員会議のペーパーレス化、オンライン化(全校種)
- ・各種アンケートのオンライン(Google form等)で実施(全校種)
- ・他国や他市の学校とオンラインで結び交流(小)
- ・児童生徒の欠席連絡・学校保護者間の連絡、おたより配信をICT化(小・中)
- ・デジタル教材の活用。日常的にタブレットを持ち帰り、自宅学習の一部としても積極的に活用(中)
- ・PTAの会議のリモート実施(中)
- ・自動採点システム利用の推進(中・高)
- ・Classiの導入による連絡体制の構築(保護者・生徒・教職員)(高)
- ・義務教育段階の学び直しを目的にAI学習アプリの導入、各教科配布プリントのデジタル化(高)
- ・始業式・終業式のオンライン実施(特)

Q3.「新たな挑戦 -たとえば日課表の見直し-」について、具体的に取り組むことができましたか？

はい
90.4%



<主な取組>

- ・職員朝礼の廃止/削減、会議時間の短縮(全校種)
- ・校時表を再検討することにより、児童の在校時間の縮小(小)
- ・下校時刻の繰り上げ→地域と連携した、学校外の放課後居場所づくり(公民館、スポーツ少年団との連携)(小)
- ・給食の時間の担任と無担任の交代、シャッフルして給食の指導(小)
- ・清掃時間の見直し等による部活動開始時刻の繰り上げ(中)
- ・1コマ45分授業化、生み出した5分×6＝30分の帯取り有効活用(中)
- ・朝学習、土曜課外の取りやめ(高)
- ・教職員の勤務時間の見直し(フレックス勤務の推進)(高)
- ・学校電話の取次時間を設定し、時間外は留守番電話(特)
- ・「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」の形式見直し(特)

「楽するために削ぎ落とす」ではなく、引き続き子どもたちにとってより良い学びの場、質の高い教育を提供できるよう、教職員自身も自己成長を感じられたり、視野を広げられるような「ゆとり」を生み出していける一年間になりましたでしょうか。ぜひ、これまでのGGKニュースも参考に、振り返りをしてみてください。

引き続き、各学校や各グループ等の取材希望を承ります

令和6年度についても、新規の取材のご希望をぜひお寄せください！
校長会、学年会、若手主体のグループなど、学校単位以外も取材します！

☆令和5年度取材例:勝山市教育委員会(市全体の取組紹介)
県中学校長会 働き方改革推進委員会
大野市有終南小 南すりむ君プロジェクト・県立武生高校 ワークスタイルミーティング



また、旬のトピックスを取り扱うため、学校業務改善グループから取材の依頼をさせていただく場合もございます。ぜひご協力をお願いします。

編集後記

今年度は昨年度よりも発行回数を大幅に増やし、みなさまに情報をお届けして参りました。気になる取組やキーワードはありましたでしょうか？少しでも参考になっていたり、すでに取り組まれていることについて自信を持っていただくきっかけとなっていたら幸いです。

令和6年度も精力的に現場に伺い、福井県らしい学校業務改善、教職員の働き方改革を一緒に進めていければと思っております。

引き続き、GGKニュースをよろしくお願いいたします。

GGKニュース2024も
お楽しみに！

